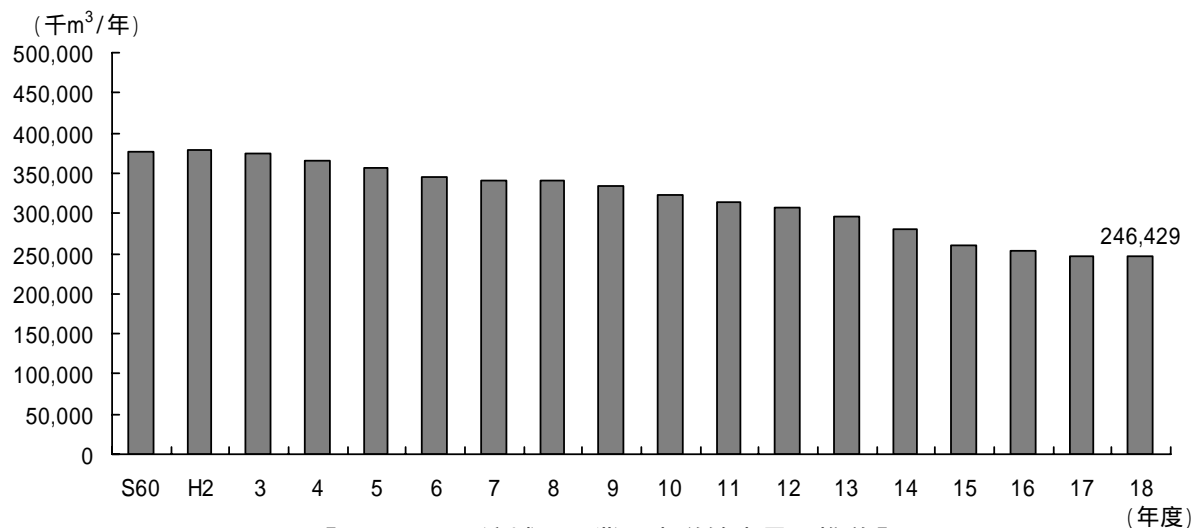


(2) 水需要

琵琶湖・淀川流域の工業用水の需要量は、節水意識の向上、経済性などの観点から、水の反復利用技術の向上、加えて産業構造の変化なども影響し、年々減少している。

流域の工業用水給水量は、平成2年度をピークに年々減少しており、特に大阪府域・兵庫県域の臨海部では平成9年度以降、大幅に減少している。

最近では、雑用水などとして、製造業以外の工業用水道の新しい需要が増えてきている。



【図 2 - 6 流域の工業用水道給水量の推移】

地方財務協会「地方公営企業年鑑（総括、水道、工業用水道、交通、電気、ガス）」より作成  
 詳細は資料 2 - 12を参照



【工業用水（冷却水）】

出典：大阪府の工業用水道パンフレット